

1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成 21年4月23日

【評価実施概要】

事業所番号	0790200059		
法人名	医療法人社団 平成会		
事業所名	グループホーム 「健康倶楽部家 鶴成館」		
所在地	〒965-0846 福島県会津若松市門田町大字飯寺字村東305-6 (電話) 0242-38-3854		
評価機関名	NPO法人福島県シルバーサービス振興会		
所在地	〒960-8043 福島県福島市中町4-20 みんなゆうビル302号室		
訪問調査日	平成21年3月19日	評価確定日	平成21年5月8日

【情報提供票より】(平成 21年 2月 10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 19年 4 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 9 人, 非常勤 人, 常勤換算	6.7 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋造り	
	2階建ての	2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	73,500 円	その他の経費(月額)	0 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,300 円

(4) 利用者の概要

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護 1	4 名	要介護 2	1 名
要介護 3	4 名	要介護 4	名
要介護 5	名	要支援 2	名
年齢	平均 81 歳	最低 68 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	いとう内科消化器科クリニック、飯寺ファミリー歯科クリニック
---------	-------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域密着型サービスの創設に合わせて開設した複合施設であり、同一敷地内に小規模多機能型居宅介護事業所と認知症対応型通所介護事業所が併設されている。事業所運営やケアの質の向上に向けて法人の支援体制が整備されており、安定的な運営が行われている。職員は年2回各自の目標設定をし、半年後に目標達成に関する評価をし自己研鑽に努めている。また、毎月利用者の希望や意向の把握を目的とした「お客様会議」を開催し、利用者の思いに沿ったケアの実施につなげている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価で取り組みが必要だとされた項目では、利用者に関するアセスメントを重視し時間をかけて取り組んだり、重度化・看取りに関する指針を作成し家族に説明し意向を確認した。一つずつ改善に向けた取り組みを行っている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価、自己評価を踏まえ、全職員で自己評価に取り組み、管理者が中心になりまとめたものを全職員が内容を共有し、サービスの質の向上に努めている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5)
	運営推進会議は併設の小規模多機能型居宅介護事業所と合同で2ヶ月に1度定期的に開催している。回を重ねるごとに内容も充実してきており、委員から、事業所が地域の小学校の「子供避難の家」になってはとの提言があり、小学校と協議し「子供避難の家」となった。また、地区の行事(お祭り、文化祭等)への参加等についても助言があり、地域との交流が増えている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	運営推進会議や家族の面会時には家族が意見等を言いやすい雰囲気作りをし、意見の把握に努めている。出された意見は職員会議で話し合い運営に反映させる体制となっている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	運営推進会議の開催により、地域との交流が増えてきている。町内会に加入しており、地域の行事には積極的に参加している。近隣に新築の住宅が増えてきており、町内会の回覧で事業所の情報を発信することにより、さらに地域との交流の機会が増えると思われる。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	所属する医療法人グループの理念とは別に、地域密着型サービスを踏まえた理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所内に掲示し、職員会議やカンファレンスでは理念について掘り下げて話し合い、全職員が日頃より理念の実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	今年度から町内会に加入したことにより、地域との交流がさらに増え、地域の行事等に積極的に参加し交流している。また、ボランティア(事業所慰問)の受入も積極的に行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年度の外部評価の結果、取り組みが必要だとされた項目について一つずつ改善に取り組んでいる。また、今回の自己評価も評価の意義や目的を理解し全職員で実施し、管理者が中心になり取りまとめた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	併設の小規模多機能型居宅介護事業所と合同で定期的開催している。委員からの提言や意見を運営に反映させている。		
6	9				
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月、担当者が利用者の近況報告や金銭管理の報告等を行っている。利用者の生活状態に変化があった場合には、随時電話やメールで報告しており、面会時には日頃の様子を伝えている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や運営推進会議では家族の意見の把握に努めており、聞き取った意見は職員会議で話し合い、運営に反映させる体制になっている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	現在のところ職員の異動はほとんどない。異動の際にはプリセプター方式（馴染みの職員が新しい職員を1対1で指導する体制）で利用者へのダメージを少なくするよう配慮している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の研修については法人の研修計画に基づき実施し、全職員の研修機会が十分確保されている。また、資格取得については法人内で特別講習等の支援があり、資格取得後は待遇に反映させる体制になっている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の他の事業所や近隣の同業者との交流のほかに、福島県認知症グループホーム連絡協議会の研修会等交流しており、管理者は同協議会の管理者会議に参加しネットワークづくりに努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)	/		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の趣味や出来ることを継続できるように支援している。習字の得意な方にはメニューを書いてもらい、季節の行事食の作り方等は利用者から教えてもらいながら行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中（会話、表情や仕草等）で利用者の思いや希望の把握に努めている。また、月1回利用者の思い（言葉）を聞き取るため、お客様会議を開催している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日頃の会話の中で把握した利用者の思いと聞き取った家族の意向を基に、利用者の状態に合わせて職員全員で話し合い介護計画を作成している。しかし、長期目標と短期目標が具体的な言葉で記入されておらず、同じ目標が繰り返されている。	○	援助内容を支援した後の利用者像をイメージした短期目標とし、期間終了時に目標が達成でき、次の目標へと変更できる具体的な表現を記入して欲しい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	計画終了時に介護計画をモニタリングしながら利用者や家族の意向を確認し、新しい介護計画を作成している。状態変化がある場合、随時に介護計画を変更し、見直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている（小規模多機能居宅介護）	/		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の希望に応じて入居前のかかりつけ医等の受診ができるよう家族や職員の通院介助により支援している。職員が同行した際には、電話で家族へ報告し、病院から帰り着いた時に家族から報告を受け情報を共有している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けた方針を作成し、利用開始時に利用者と家族等に説明し、同意を得ている。また、書面で利用者と家族の意向を確認している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の状態にあわせ、羞恥心へ配慮しながら、さりげなく声をかけトイレ誘導等の対応をしている。家族から個人情報利用同意書を得て、記録等は事務室内で適切に管理している。また、職員とも守秘義務に関する誓約を取り交わしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者が自分の思いやペースで生活できることを大切に支援しているため、夜遅くまでホールで過ごす利用者もいる。小規模多機能型居宅介護支援事業と一緒にレクリエーション等は利用者の希望を聞き対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎月、『お客様会議』を開催し利用者の希望を聞き、食事と手作りおやつの献立を立てている。利用者と職員と一緒に調理・盛り付け・食事・片付けを行い、楽しく過ごしている。また、利用者の希望によりラーメンツアールを実施している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に合わせて入浴支援を実施している。また、入浴を望まない人へは、声かけのタイミングを工夫し臨機応変に対応している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	洗濯物たたみ、食事の準備、後片づけ、掃除、花の水くれ、メニュー書き等一人ひとりが自分のできることを役割として積極的に行っている。また、職員は読書や歌等利用者の楽しみごとができるよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	天候や利用者の状況に応じて、散歩に出かけている。近所のスーパーへの買い物・外食・花見・紅葉狩り・ドライブや町内会の行事への参加など外出支援を行っている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間以外は施錠は行っていない。入口のドアにはセンサーを付け、外出の把握が出来るよう対応している。また職員一人ひとりの見守りにより対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災を想定した避難訓練は年2回行われている。また職員は災害時の役割分担をし、利用者が安全に避難できるよう取り組んでいる。非常災害時の備蓄は準備を始めたところだが、地域の協力体制が十分ではない。	○	今後は、様々な状況（水害、火災、地震、夜間等）を想定して出来るだけ多くの訓練することが必要だと思われる。また、地域の協力体制が確保されるよう取り組んで欲しい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食ごとに食事摂取量等を確認しながら、記録している。利用者の好みを取り入れて献立を立て、出来あがった献立は事業所内栄養士が栄養バランス等を確認している。また、毎月、体重測定を実施している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールには食事用のテーブルと椅子、テレビの前にはソファがあり、その時の気分に合わせて利用者は居場所を選んでいる。食器を洗う音、調理の際の匂い、季節に合わせた飾り付けなど家庭的な雰囲気でも過ごせるよう工夫している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前まで自宅で使っていた椅子、位牌、写真等を持ち込み居心地良く過ごせるよう工夫している。		

※  は、重点項目。

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 グループホーム
「健康倶楽部家 鶴成館」
記入担当者名 重巢 孝子

評価結果に対する事業所の意見

特になし

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目No.を記入してから内容を記入してください。